

# 栃の木からの手紙

2024年 神無月 10月号

3日： 新月 旧 9月 1日

8日： 寒露

12日～： 西空にアトラス彗星見えるかも

17日： 満月 旧 9月 15日

23日： 霜降

## 【 デントコーンの収穫 】

9月下旬、ビートの出荷日が伝えられ当農場の出荷は来月5日、26日、11月17日の3回出荷で終了。あまりの早さにビート収穫作業を急ぐ。そんな中、デントコーンの収穫業者から「2日の昼から収穫する予定」との連絡。

丁度、デントコーンの畑の隣でビートの収穫中。一戸農場での収穫を終えたデントコーンの収穫機は昼に現れ14時には収穫を完了して津別の別の農家へ移動して行った。

労働力の問題で食用芋からデントコーンに変更したわけですが、食用芋では同じ面積で丸4日は収穫に掛かります。しかも一般の芋の収穫作業より大変。その後の選別箱詰では、2週間近く作業が掛かります。デントコーンは子実の部分だけを収穫する「イヤコーン」と言うものでトラック3台分運ばれて行きました。これから金銭処理になる訳ですが当初の説明からすると食用芋と同じ位の収入はある様です。

3日の夜中から雨になる予定でビートの収穫終了後17時からデントコーンの残渣物のすき込み作業を行い22時で完了。来年に向けて畑にすき



込んだ残渣物の分解促進を進めて行きます。

今迄、背の高いデントコーンで視界が遮られていましたが、収穫跡の視界の風景に中学の頃から覚えている一句が浮かぶ。

夏草や 兵どもが 夢の跡 ~松尾芭蕉~

# 【 2024年 有機JAS赤ビーツ 収穫状況 】

2024年 9月25日

- 4月13日 播種
- 5月25日 移植
- 6月16日 7月8日カルチ除草
- 7月14日 手取り除草
- 7月27日 ひまわり細断
- 8月 3日 ひまわりすき込み
- 9月16日 手取り除草
- 9月17・18日 収穫
- 9月23～25日 選別

9月17日 収穫前



9月20日 整地



## 2024年 有機赤ビーツ 収穫量

作付面積 1反2畝 (12a)

	ミニコン	重量 kg	割合 %
100g台	10	200	14
200g台	11	220	15
300g台	10	200	14
400g台	8	160	11
500g台	5	100	7
600g台	1	20	1
大玉	5	100	7
外品	23	460	31



選別作業、重量毎に分ける

計	73	1460	100
---	----	------	-----

昨年2023年の反収は 1875 kg。今年2024年の反収は、1216kg/反。大玉も少なく9月末に加工に出してミニコン5個直ぐに無くなりました。まだ2月にも加工をするので4・500g台も全部残しておく必要があります。

小玉傾向の原因の幾つかは、移植時期が5月中旬から下旬にずれた事。セルトレーで育苗しているため作物の直根の生育が阻害されている事。かまぼこの様に盛上げた土の上に機械で移植しているため早魃の影響を受けやすい事。来年の栽培に向けて一般のビーツの様に苗の直根を伸ばせる様な育苗方法や移植床を考える必要があると考えています。